

質問に対する回答について  
工事名) 秋田自動車道 横手工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>道路掘削について                      特記仕様書P. 40 土砂B4において中里橋施工ヤード(復旧時)への搬出が含まれておりますが、設計図(工事用進入路・施工ヤード)27/29では復旧数量がわかりません。復旧数量をご教示願います。</p>	<p>閲覧資料 中里橋作業ヤード整備工の掘削断面図に示す、単価項目 道路掘削 土砂B 5にて掘削した箇所の復旧になります。</p> <p>数量の検測は、土木工事共通仕様書 2-6-6に記載のとおり地山の設計数量になりますので、復旧数量は貴社の施工計画に基づきお考えください。</p> <p>設計図の一部が不足していましたので、後日訂正いたします。</p>
2	<p>道路掘削について                      特記仕様書 P. 41 土砂 B5 において中里橋施工ヤード(造成時)への搬出が含まれておりますが、設計図(工事用進入路・施工ヤード)27/29 では造成数量がわかりません。造成数量は地山復旧時の数量と考えるのでしょうか。造成数量をご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
3	<p>道路掘削について                      特記仕様書に本線区間(大沢トンネル終点坑口～横手トンネル起点坑口間)の下部路床の施工に関する該当箇所がありません。どこの項目で施工するとお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>本線区間(大沢トンネル終点坑口～横手トンネル起点坑口間)の下部路床の単価項目は、道路掘削 軟岩A 1になります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
4	<p>道路掘削について                      特記仕様書 P. 40 道路掘削・土砂 A1 において、「2)本線部(施工箇所起点～大沢トンネル起点側坑口)における～」には大沢トンネル起点側坑口の盛土も含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>

5	<p>道路掘削について</p> <p>特記仕様書 P. 40 道路掘削・土砂 A2 において、「2)本線部(大沢トンネル終点側坑口～横手トンネル起点側坑口)における～」には大沢トンネル終点側坑門及び横手トンネル起点側坑口の盛土も含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
6	<p>道路掘削について</p> <p>特記仕様書 P. 40 道路掘削・土砂 A3 において、「2)本線部(横手トンネル終点側坑口～中里橋 A1 橋台)における～」には横手トンネル終点側坑口の盛土も含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
7	<p>道路掘削について</p> <p>特記仕様書 P. 40 道路掘削・土砂 B3 において前郷工事用進入路への搬出がふくまれております。中里地区工事用進入路②からだど工事用道路・番号 10、国道 13 号他を経由しての搬出と考えられますが、前郷地区本線外盛土場内も走行可能と考えるのでしょうか。また、前郷地区本線外盛土場内へは設計図(本線外盛土場)2/76 における斜路(W=9.0m)を使用して進入すると考えるのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>土運搬経路については、特記仕様書 14. 工事用道路に関する事項を勘案の上、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

<p>8</p>	<p>道路掘削について  特記仕様書 P.40 道路掘削・土砂(表土)A1 において本線(工事箇所起点～大沢トンネル起点坑口)における土砂を前郷地区本線外盛土場へ搬出となっております。設計図(本線(上り線))2/76 において以下のいずれが考えられると思いますが、搬出ルートについてどのようにお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①大沢トンネル(掘削後)を工事用道路として使用し、搬出  ②土渕トンネル・虫内工事用進入路・市道虫内線・国道 107 号線他を使用して搬出  ③その他  その他の場合は、経路をご教示願います。</p>	<p>質問番号 7 に対する回答のとおりです。</p>
<p>9</p>	<p>工事用道路について  設計図(本線(上り線))2/76 において、工事用道路番号 1 の市道虫内線の延長が 200m とあります。地図ソフト上で延長を図ると 200m 以上あると思われませんが、延長 200m の根拠をご教示願います。</p>	<p>工事用道路 番号 1 市道虫内線の延長は正しくは 600m になります。  交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>

10	<p>工事用道路について 特記仕様書 P.40 道路掘削・土砂(表土)A3 において本線(横手トンネル終点側坑口～中里橋 A1 橋台)における土砂を前郷地区本線外盛土場へ搬出となっております。設計図(本線(上り線))2/76 おいて以下のいずれが考えられると思いますが、搬出ルートについてどのようにお考えでしょうか。ご教示願います。</p> <p>①中里地区工事用道路①、市道平林・寺内線、国道13号他を使用して搬出 ②横手トンネル(掘削後)を工事用道路として使用し、搬出 ③その他</p> <p>もしその他の場合は経路をご教示願います。</p>	質問番号7に対する回答のとおりです。
11	<p>トンネル掘削歩掛について 特記仕様書 P.61 において、大沢トンネルの STA.179+49.0 より機械掘削による補助ベンチ付き全断面掘削工法(早期閉合)があります。積算基準には全断面による機械掘削の歩掛がありませんが、どのように歩掛をお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関する質問にはお答えできません。
12	<p>トンネル掘削歩掛について 早期閉合においてインバート吹付がありますが、積算基準にはインバート吹付に係る歩掛がありません。どのように歩掛をお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関する質問にはお答えできません。
13	<p>早期閉合について 早期閉合におけるインバート掘削の労務は2方と考えるとよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	積算に関する質問にはお答えできません。

14	トンネル掘削歩掛について 早期閉合における DⅡ-a(H)-St-AF-K(EC)において、鋼アーチ支保工が HH-108×104×10×12 が1基当たり8ピースありますが、積算基準上には対応の歩掛がありません。どのように歩掛をお考えでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
15	トンネル掘削歩掛について 早期閉合における DⅢa(H)-AF-K(EC)及び DⅢa(H)-A-K(EC)において、鋼アーチ支保工が HH-154×151×8×12 が1基当たり6ピースありますが、積算基準上には対応の歩掛がありません。どのように歩掛をお考えでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
16	早期閉合について 早期閉合におけるインバート仮埋戻し作業はトンネル掘削に見込まれているのでしょうか。計上されている項目をご教示願います。	令和6年8月5日掲載「質問に対する回答について④」質問番号2に対する回答のとおりです。
17	早期閉合について 早期閉合におけるインバート仮埋戻し作業の労務は2方でしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
18	早期閉合について 早期閉合におけるインバート仮埋戻し土の掘削はトンネル掘削に見込まれているのでしょうか。計上されている項目をご教示願います。	早期閉合に伴う1次インバート埋戻しに係る埋戻し・掘削・運搬の費用については、単価項目のインバート埋戻し工に含むものとしてお考え下さい。
19	早期閉合について 早期閉合におけるインバート仮埋戻し土の掘削の労務は1方と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。

20	<p>盛土工について 特記仕様書 P. 45 における盛土工 B1 について、土砂(土砂 B、土砂 E)及び軟岩(軟岩 A)、トンネルずり(第三紀の C 地質及び第三紀の D 地質)のそれぞれの数量配分をご教示願います。</p>	<p>盛土工 B 1 での他工事からの発生する土質・岩質およびトンネルずりの分類における積算数量は以下のとおりです。</p> <p>土砂 B 3,164.8m<sup>3</sup> 土砂 E 13,608.8m<sup>3</sup> 土砂 F 217.2m<sup>3</sup> 軟岩 A 1,688.3m<sup>3</sup> トンネルずり(第三紀の C 地質) 0.0m<sup>3</sup> トンネルずり(第三紀の D 地質) 0.0m<sup>3</sup> なお、交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
21	<p>盛土工について 特記仕様書 P. 45 における盛土工 B2 について、土砂(土砂 B、土砂 F)及び硬岩(硬岩 A)、トンネルずり(第三紀の C 地質及び第三紀の D 地質)のそれぞれの数量配分をご教示願います。</p>	<p>盛土工 B 2 での他工事からの発生する土質・岩質およびトンネルずりの分類における積算数量は以下のとおりです。</p> <p>土砂 B 0.0m<sup>3</sup> 土砂 E 4,767.6m<sup>3</sup> 土砂 F 1,237.7m<sup>3</sup> 軟岩 A 14,325.2m<sup>3</sup> 硬岩 A 2,037.6m<sup>3</sup> トンネルずり(第三紀の C 地質) 18,320.9m<sup>3</sup> トンネルずり(第三紀の D 地質) 50,983.6m<sup>3</sup> なお、交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
22	<p>吹付のり工について 設計図(附帯工)72/109 において横手トンネル終点坑口における吹付のり枠がありますが、詳細の数量(ラス張り等)がわかりません。詳細の数量をご教示願います。</p>	<p>閲覧資料を参照ください。</p>
23	<p>吹付のり工について 吹付のり枠工において、表面コテ仕上げ費は計上するのでしょうか。もし、計上する場合はその数量をご教示願います。</p>	<p>特記仕様書 29-10(2) のとおり計上ください。 なお、数量は閲覧資料を参照ください。</p>

24	<p>設計図 (5/11) 中里橋 設計図 (5/11) 中里橋・42/79【中里橋 (上り線) 下部工施工計画図 (1) (参考図)】によると A1 橋台の鋼矢板施工時は 120t 吊トラッククレーンを使用することとなっていますが、割掛対象表参考内訳書の工事用機械分解組立費に、120t トラッククレーンの計上がありません。ご確認をお願いいたします。</p>	<p>120 t 吊トラッククレーンの工事用機械分解組立費の計上は以下のとおりです。</p> <p>割掛対象表参考内訳書</p> <p>【共通仮設費】</p> <p>工事用機械分解組立費 (土工関係)</p> <p>【R8年度】</p> <p>トラッククレーン (油圧伸縮ジブ型 120 t 吊) 1 台ー1 往復 (中里橋 A 2 橋台)</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
25	<p>数量明細表 3/28 ページ</p> <p>2-(6) 構造物掘削 普通部 A1 について、本線外盛土場に 34.7m<sup>3</sup> 計上されていますが、前郷地区本線外盛土場 横断管渠工の構造物掘削を集計すると 57.6 m<sup>3</sup> (14.0+20.4+0.5+14.3+8.4) 数量についてご確認をお願いいたします。</p>	<p>土木工事設計数量算出要領に記載のとおり、径 1.00m 以上の高耐圧ポリエチレンパイプカルバート C-P(Po) I φ1.00 及び用排水溝 P-Bx・1.00・1.00 に係る掘削は、構造物掘削 普通部 A1 での計上となり、その他の用排水溝及び用排水管の掘削は、各単価項目に含まれるものとしてお考えください。</p>
26	<p>特記仕様書 P. 41～</p> <p>道路掘削 土砂 (表土) A1～A6 について、掘削した土は本線部の上部路体、下部路体に盛土することとなっていますが、土木工事共通仕様書 2-6-5 施工 (2) には「本線に盛土する場合は、～～土砂 (表土) を道路下部路体部に使用するものとする。使用場所は盛土高 7 m 以上で盛土の安定に支障とならない箇所とし、現地盤から 1 m 程度を限度とする」と記載があります。本案件に盛土高 7m 以上の箇所はありませんが、土砂 (表土) を路体盛土に使用する計画なのでしょうか。ご確認をお願いいたします。</p>	<p>土砂 (表土) は有用表土として、下部路体・上部路体ののり面仕上げを想定しております。</p> <p>交付図書の一部に不足がありましたので後日訂正いたします。</p>

27	<p>特記仕様書 P. 45 盛土工 B1 について、関連工事から荷受けする、土砂 B、土砂 E、軟岩 A、トンネルずり第三紀の C 土質及び第三紀の D 土質それぞれの土量をご教示ください。</p>	<p>質問番号 20 に対する回答のとおりです。</p>
28	<p>特記仕様書 P. 45 盛土工 B2 について、関連工事から荷受けする、土砂 B、土砂 F、軟岩 A、トンネルずり第三紀の C 土質及び第三紀の D 土質それぞれの土量をご教示ください。</p>	<p>質問番号 21 に対する回答のとおりです。</p>
29	<p>特記仕様書 P. 40～ 本線部（大沢トンネル終点側坑口～横手トンネル起点側坑口）の下部路床盛土に使用する土は、どこから流用するのでしょうか。場所と土質区分をご教示ください。</p>	<p>質問番号 3 に対する回答のとおりです。</p>